

ACROSS
編集部

【先取り！トレンド】12月：バックプリント

株式会社パルコ(本社:東京都渋谷区、以下パルコ)が運営するWEBマガジン「ACROSS」では、1980年8月より毎月、街の若者とファッションのトレンドを「定点観測」しています。
2013年冬、東京のストリートでは“バックプリントアイテム”が浮上しています！

【東京のストリートでの着こなし】



▲17歳・フリーター
スウェットはstussy。ロゴが思い切り主張していて、インパクトがあるところが決め手です。



▲16歳・高校1年生
スタジャンはカラフルでワッペンやロゴのポイントが付いているところが気に入りました。

バックプリントは、もともとチームウェアやユニフォームに使われていたモチーフ。スタジャンやスウェットなどのスポーティなアイテムで、背中にブランドロゴやメッセージが大きく入ったものが人気です。

★パルコ「ACROSS(アクロス)」編集部・高野編集長コメント

背中にデザインのポイントのある服／着こなしを、「バックポイント／バックジャン」としていちばん最初に「定点観測」で取り上げたのは1986年9月のこと。大きなリボンやカッティング、背中を大きく露出するスタイルなど、“女性らしいセクシーなスタイル”と、スタジアムジャンパーの背中に大きくブランドロゴや何らかの文字が入ったアメリカのカレッジファッション／アメカジをルーツとした“キャラクターっぽいデスタイル”、そして、サテン地に光沢のある糸で文字や絵柄が刺繍で施されたスカジャンやつなぎのような“不良っぽいスタイル”と、およそ3パターンに分かれていたのが特徴でした。

そして、80sファッションがリバイバルしているなか、2013年11月の東京のストリートでも浮上中！ ということで、11月の定点観測で取り上げました。

渋谷・原宿・新宿で観察とインタビューを行ってみてきたのは、かつてに比べて“女性らしさ”は“幼さ”に変容。“キャラクターっぽさ”と“不良っぽさ”はお互いに混ざり合って、3つすべてが“KAWAII”カルチャーに呑み込まれてしまった東京のストリートファッションでした。

それにしても、モードっぽいファッションが(ある程度)台頭した後は、必ずリアルクローズの象徴でもあるアメカジが再浮上します。また、日本人(アジア人全般も)は、基本的にブランドロゴを主張した記号的なファッションが好みというのも、まだまだ増えそう！

★くわしくはこちらを見てね！ ⇒ www.web-across.com

渋谷パルコのショップでは



上下を揃えてワンピース風に着ても、別々に着てもOK。いろいろなコーディネートができる、着まわし力の高いアイテムです。



▲スポーティなスタジアムジャンパー。今シーズンはワッペンやレタード(文字)プリントがたくさん入ったタイプが人気。
90sリバーシブルホーミージャケット ¥ 18,900/RNAメディア(渋谷パルコ)



▲フロントとバックの両方にいっぱいアメリカンコミック風のプリントが入ったスウェット。ジーンズやニット帽を合わせてボーイズ風の着こなし。
スカルコーンPTTトレーナー ¥ 8,295(税込)
/RNAメディア(渋谷パルコ)
/RNA(渋谷パルコ)



▲スケートボードのプリント入り。90年代風のビッグパーカー
SCREAM BIGパーカー
¥ 9,345/RNAメディア(渋谷パルコ)



▲タトゥーやスカルなど、バンドテイストのモチーフが多いのも特徴。
FUNNY LOVEラグランT
¥ 7,245(税込)/RNAメディア(渋谷パルコ)



渋谷パルコでは多くのショップにて、この冬注目のバックプリントアイテムを多数取り揃えています。取材対応も行っておりますので、ぜひお気軽にお問合せ下さい。(取材時に本商品の取り扱いが終了している場合は、代品での対応となることをご了承下さい)